

# 道

2020・6・3

通信 No 1587



ユキノシタ

リレーエッセイのご指名を頂きました T-1 の小林俊雄です。

運営委員の皆さんにはいつも大変にお世話になり感謝しています。新型コロナの感染状況が一時的に収束に向かい緊急事態宣言の解除がされましたがまだまだ予断は許されず毎日マスコミの報道を注目している今日この頃です。私、1 昨年は車いす生活をも覚悟した二回目の脳梗塞の大手術をし、軽い後遺症はあるものの身体が自由になる事に感謝しながら、リハビリを念頭に毎日を過しています。中山、小坂、二宮先生方を始め道の団員の皆さんから励ましのお言葉を掛けて頂き有難うございました。昨年の約一年間はリハビリ期間となり練習に身が入らず、皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。

歌う事は私の生き甲斐です。今年 1 月～3 月までは 1 週間に 2, 3 日はカラオケボックスの 1 室を午前中貸し切りヴォイトレとリハビリを兼ねて 1 日に約 30 曲を歌い一人カラオケを楽しんできました。しかし、コロナの影響で 4 月には店は閉店になり、今は約 1 時間家の周辺を散策したり、時代劇テレビをみたり、又今まで自分の歌ってきた歌をパソコンでメロディーのチェックをしながら楽しんでいます。その内容はラジオ歌謡から（藤山一郎の懐かしのポレロ、岡本敦郎のチャペルの鐘、伊藤久雄のブラジルの太鼓）ポピュラーからは（菅原洋一の芽生えてそして、尾崎紀世彦のまた会う日まで、マヒナスターズの泣きぼくろ、荒木一郎の空に星があるように、布施明のシクラメンのかほり、佐藤宗幸の岩尾別旅情、カプリシャスのジョニーへの伝言、さだまさしのコスモス等）カンツォーネではラスパニョラ、童謡唱歌、沖縄民謡等・当然ロシアの歌も含まれます。これらがパソコンでチェックしてきた曲です。

これからはコロナに有効な特效薬ができるまで収束を祈りつつもコロナとの共存を容認して、お互いに被災しないように 3 密には十分に気配りをしながら暮らしていく事ではないでしょうか。次は素敵な低音の響きを持つバスの永橋正史さんにバトンタッチ致します。

**練習再開に向けてのアンケートにご協力ありがとうございました！**

ソプラノ	アルト	テノール	バス	先生	合計
10 人	12 人	7 人	11 人	2 人	42 人

《練習会場・及び会議室 開放状況》 以下のようになっています。（6月3日現在）

- ① 岡野中学音楽室（6月中使用不可・7月については後日連絡があります）
- ② 睦母子生活支援センター（10人未満のグループの利用は可能・合唱への貸し不可・期間未定）
- ③ 岩間ホール（定員 181 人）（90人未満のグループは利用できます）感染防止対策必要
- ④ 県民サポートセンター会議室・フリースペース（8月一杯利用できません）
- ⑤ 西区地区センター会議室（10人前後のグループの使用可能・リソグラフ使用可能）
- ⑥ フォーラム南太田 7月より利用可（50名定員中15名のみ）マスク着用で歌う事等条件有